

関係機関に意見書を提出

十二月定例会では、次の意見書を議員提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。その概要をご紹介します。
◇改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

今般設置された消費者庁の所管ないし共管となる地方消費者行政の充実及び多重債務問題が喫緊の課題であることも踏まえ、国に対し、次の施策を求める。

- 一 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
二 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人員費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。

- 三 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
四 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

平成二十二年二月一日発行

委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

一般会計補正予算

(教育費) について

問 育英資金貸付事業で、基金の活用状況について伺いたい。



答 今年度の貸付状況は、新規の高校生が六名、大学生が二十三名に対し、合計九十九万円、前年以前からの継続の高校生が四名、大学生五十一名に対し、合計、千八百九十六万円である。合計、高校生十名、大学生七十四名に対して、総額二千八百五万円を貸し付けている。

(所管課・教育総務課)

福祉環境常任委員会

一般会計補正予算

(民生費) について

問 「経済危機対策」わがまち子育て応援手当支給事業の二億一千万円は、熊谷市が、九月議会の補正で、国の「子育て応援特別手当」

とともに、市独自の事業ということで提案したもののだが、減額になった理由と市民への対応について伺いたい。

答 国の「子育て応援特別手当」が、執行停止されたことに伴い、この手当を補完する「わがまち子育て応援手当」の執行停止をさせていただいた。また、市民への周知については、市報十二月号およびホームページでお知らせさせていただいた。

(所管課・こども課)

市民産業常任委員会

一般会計補正予算

(衛生費) について

問 新型インフルエンザの感染拡大による関係費用ということで医薬材料等の購入や謝金が計上されている。休日、夜間の来院患者が非常に多かったと思われるが、その状況について、伺いたい。

答 主に九月頃から新型インフルエンザの患者数が増加し、一番多い時では、十一月の休日昼間の百七十三人、また、夜間の診察時間内では九十七人の患者数であった。通常では、夜間患者九十七人が、平均的な休日昼間の患者数であり、それをほるかに上回る患者が来院したことになる。

(所管課・休日・夜間急患診療所)



都市建設常任委員会

熊谷市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例について

問 今回、この条例において、県の要綱と比べた場合、熊谷市独自の特徴があるのかどうか伺いたい。

答 近隣住民以外の周辺住民について説明を求めていることができるという規定等は、県の要綱とは異なっている。基本的に県の要綱のスタンスは変えないものの、県内の状況を把握した上での条例案としている。

(所管課・開発指導課)

編集だより

ここに、市議会だより第十八号をお届けいたします。本号では、一般質問の要旨をはじめとする十二月定例会の概要等を紹介しました。

これからも市民の皆さんと市議会を結ぶ紙面づくりを目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見等をお寄せください。

議会報編集委員

- ◎松岡 兵衛 ○杉田 芳雄
松浦 紀一 泉 二良
小林 甚一 山田 忠之
新井 清次 高橋 初
三浦 和一 黒澤三千夫
(◎委員長 ○副委員長)

会議録の閲覧について
市議会では、本会議の様態を記録した会議録を作成しています。
12月定例会の会議録は、議会事務局、市役所情報公開コーナー、行政センター、図書館、市議会ホームページなどで3月上旬から閲覧できます。
詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

